

令和5年度 【児童発達支援評価表集計結果（事業者向け）】

子ども療育センター笠岡学園

公表：令和6年 2月 9日（金）

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	改善目標 工夫している点など
体制整備・ 環境	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	1		<ul style="list-style-type: none"> 活動によっては狭く感じるが工夫はしています。 基準は満たしているが、実際に活動する場としては遊戯室や園庭が狭いと感じます。活動に合わせて別の部屋を借りることもあります。
	2	職員の配置数は適切であるか	10	1		<ul style="list-style-type: none"> 人員配置としては必要時個別対応もしています。時間の使い方を工夫できるとよいと思います。 欠席児の多い日などは職員が多いと感じる日もありますが臨機応変に動いています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された空間になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	5		<ul style="list-style-type: none"> 建物が古くバリアフリーではないので子どもの状況に合わせ職員が環境の工夫をしています。 手すりがあるといいと思う箇所があります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	9	2		<ul style="list-style-type: none"> 部屋によって物が多く必要なものがすぐに取り出せないことがあります。整理整頓に工夫が必要です。
業務改善	5	業務改善を進めるためにPDC Aサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 職員全員で研修などあおこなう時間をもっと確保したいと感じます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10		1	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	5		
	9	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11			

10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか	10		1	
11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10		1	
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」「地域支援」で示す内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9		2	
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10		1	
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10		1	・クラスの枠を超えて発達年齢にあった活動を実践しています。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10		1	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	10		1	
17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	3	1	・勤務や業務の都合上、毎日必ずということは困難なため可能な限りは実施しています。職員間の信頼関係で成立している部分も大いにあります。
18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	9	1	1	・可能な限りは実施しています。
19	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証、改善につなげているか	9		1	・今後も支援の検証、改善につなげるよう職員間で話をする必要があります。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9		1	
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9		1	・担任や児発管など、内容によって参画職員を検討しています。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9	2	1	

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもをや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24	(医療的ケアが必要な子どもをや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11			<ul style="list-style-type: none"> 交流保育、幼稚園体験などに、初回は担任や児発管が同伴しています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10		1	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	1	1	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園との交流があるか	8	1	2	<ul style="list-style-type: none"> 現在は単なる交流は実施していません。地域との交流を希望される場合や就学前には、地域の園で交流できる機会を設けています。
	29	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	10		1	<ul style="list-style-type: none"> 児発管が自立支援協議会の運営委員会やこども部会に参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	9	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳や送迎時にお子さんの様子や課題について共有するよう努めています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	10		1	
	保	32	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10		1
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10		1	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援ガイドラインの周知に努めます。
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10			<ul style="list-style-type: none"> 発信が弱い保護者からも困り感を引き出せるよう、日ごろのコミュニケーションや連絡帳などでやり取りしながら、相談援助に繋げていけるように努めます。

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9		2	<ul style="list-style-type: none"> 月に1回以上は座談会等を企画していますが、参加者が少ないのが現状です。内容の工夫が必要だと感じています。
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11			<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの苦情や声を真摯に受け止め、迅速な対応に努めています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11			<ul style="list-style-type: none"> 書面でのお手紙配布に加え、公式LINEアプリを導入し、連絡体制を整えています。
	38	個人情報に十分注意しているか	11			
	39	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10	1		<ul style="list-style-type: none"> 今年度は4年ぶりに地域住民を招いての学園まつりも開催できました。今後啓発も兼ねて機会を増やしたいです。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	3		<ul style="list-style-type: none"> 職員間では、情報共有や周知徹底できるようにしています。保護者への発信や周知は十分できていないと感じています。 防犯訓練など年に1回は万が一に備えて実施訓練が必要と感じます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11			<ul style="list-style-type: none"> 毎月、避難訓練を実施しています。より具体的な想定のもと訓練が必要と思います。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作当の子どもの状況を確認しているか	11			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	11			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11			<ul style="list-style-type: none"> 毎日、ヒヤリハット報告を行い、集計したものを定期的に回覧しています。危機管理意識を高め、危険回避に努めます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11			<ul style="list-style-type: none"> 虐待研修を実施し意識を高め、人権チェックリストで自己のかかわりを振り返る機会を設けています。 気になる場面に遭遇した時、職員間で伝えあえる関係性を日頃から築いていくよう努めます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか	9	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 必要な場合には保護者に了解を得て、支援計画に記載するようにしています。 職員間で身体拘束の定義について周知徹底し、ケースバイケースで内容を吟味していく必要があると感じます。

(85%) 回収率 11人/13人